

(公社) 日本地すべり学会 新潟支部

平成 30 年度 第 1 回幹事会

日 時：平成 30 年 6 月 15 日（金）18：30～21：00

場 所：新潟大学災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルーム

出席者：渡部（直）、稲葉、権田、福元、歌、大塚、金澤、茂木、藤ノ木、佐藤（壽）、柚木脇、井藤、
渡部（哲）、五十嵐、徳間、山田、渡邊、石井（18 名）

記 録：石井

1. 福岡委員長死去に伴う今後の体制について（稲葉幹事長）

- ・全員で黙とう。
- ・事業計画部からは、後任の選任や代行については新潟支部に任せると言われている。
- ・大会までの期間が短いこともあり、当面「代行」とする。
- ・新潟支部長も「代行」とする。
- ・実行委員長及び支部長代行は、渡部副委員長・副支部長とする。
- ・意見交換会では、福岡委員長の元気な姿をスライドで映しておくのはいかがでしょうか（遺影をお借りするのは難しいので）。

2. 各部会の進行状況（稲葉幹事長）

① 総務

- ・地すべり学会誌 5 月号に開催案内、現地見学会、特別セッションについて掲載済み。
- ・5/28 に新潟県への後援申請、県知事への出席依頼済み。
- ・県知事挨拶については、県秘書課に報告済み（大塚幹事）。
- ・後援の依頼について、新潟県地質調査業協会および斜面防災対策技術協会新潟支部に対し、福岡委員長から話はしている（口頭のみ）。新潟県治水砂防協会、新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会へは未実施のため、今後依頼が必要。
- ・協賛か後援かについては、「後援」で統一する。
- ・建設コンサルタンツ協議会への CPD 申請はまだ。開催の 1 か月前までにプログラムなどを揃えて申請する必要がある。

② 6/8 事業計画部会（稲葉幹事長）

- ・締め切り間際になって会員登録やそれに伴う参加再登録などの対応に追われた。来年は会告・HP に注意事項として、余裕を持って手続きをするよう記載が必要。
- ・応用地質学会のパンフ置き場所を受付周辺に確保する。
- ・学生アルバイトは極力避ける方針とする。
- ・会議室の利用は実行委員会への予約制とし、先着順とする。
- ・会議室予約管理を井藤幹事が担当する。このため、事務局メンバーのメーリングリストに井藤幹事のメールアドレスを追加し、井藤幹事にメールが届くようにする。

③ 会場（稲葉幹事長）

- ・ポスター7件，調査報告2件，多くて10枚の広報パネル（新潟県砂防課）をホール付近に別途展示する必要がある。
- ・これらのために中会議室201隣のホワイエを確保済みだが，ここに掲示用のパネルを用意するのは22日の8:00からとなる（受付付近であれば，21日でも可能）。
- ・砂防課のパネルの枚数，内容を事前に確認する必要がある。

④ 受付・会計（稲葉幹事長）

- ・受付については特に問題ないと思う。
- ・公務員関係の請求書対策として，今後費用の内訳を設定しておく必要があると思う（現在のところ，内訳までを記載するよう求められたことはないが）。
- ・宿泊費はコース別に異なることから，内訳を記載するのは困難と考えられる。

⑤ 県民講演会（稲葉幹事長）

- ・会場設営，横断幕などは業者と打ち合わせて決めておく必要がある。
- ・当日配布資料として，講師の先生にA4サイズ裏表面1枚程度のプロフィールと抄録の記載をお願いする必要がある。

⑥ 研究発表会（渡部副幹事長）

- ・当日のスタッフは配布資料（当日スタッフ名簿・役割分担一覧表）で基本的に確定。
- ・スタッフが所属する所属長への委嘱状は現在準備中。各幹事にまとめて送付するので渡してほしい。
- ・依頼者は実行委員長代行とする。
- ・今後，各会場担当者による打合せが必要である。

⑦ 意見交換会（藤ノ木幹事）

- ・新潟ふるさと村の物品販売は，ホワイエ左側奥の場所でよいか会場に打診する。
- ・受付周辺のロビーには新潟県のパネルを置く可能性もある。
- ・大会ロゴデザインは提案された図案で問題ない。色は紫色とする。
- ・日本酒は40銘柄でなく，20銘柄を2本ずつとする。
- ・全国的に流通している酒を避け，新潟ならではの酒としたい。
- ・また，20銘柄のうち，10銘柄を超辛口，10銘柄を旨口など選定する方法もある。
- ・7月末までに決定する必要があるので，銘柄に希望がある方は，7月上旬を目途に藤ノ木幹事まで連絡する。
- ・市長挨拶はウェルカムスピーチとする。
- ・地すべり学会長による乾杯とし，学会長の話の中に福岡委員長の話を盛り込んでもらう。
- ・以上のことを踏まえて，藤ノ木幹事が作成した次第案を手直しする必要がある。

⑧ 新技術・広告（稲葉幹事長）

- ・6/14現在，新技術の応募は21件（募集枠26件）。残りの枠に広告を出してもらえるよう，山下副幹事長よりアナウンスしてもらう。

- ・1 ブースにつき 2 名の説明者の無料参加を認める。但し、事前に氏名を聞いて参加者名簿に登録する。
- ・6/14 現在、広告は 7 件。

⑨ 現地見学会

【A コース】（井藤幹事）

- ・内容は決定している。今後、関係者名簿、安全対策などを準備する。砂防地すべり技術センターと興和に協力いただく予定。

【B コース】（渡部委員長代行）

- ・概略を作成している。
- ・中型バスよりも大型バスの費用対効果が高いので、可能であれば大型バスとしたい。
- ・対策が完了した谷根広田は省略して、焼山の土石流監視ではどうか。
- ・昼食前に時間が余ればフォッサマグナミュージアムに寄ればよいと思う。
- ・佐藤（博）幹事を含めて打合せして詰めてほしい。

【C コース】（渡部委員長代行）

- ・今後下見をして確定する。

【参加状況申し込み状況、期限等】（権田幹事）

- ・6/15 現在、A コース 31 名（定員 40 名）、B コース 17 名（定員 40 名）、C コース 8 名（定員 10 名）となっている。
- ・現地見学会は満員にしたいため、7 月 20 日の申し込み期限を延長してはどうか。
- ・申し込みシステム上の問題なので可能と思う。
- ・現地見学会スタッフ（担当幹事、その手伝い、県・国の担当者）の弁当を、実行委員会経費で用意する。

⑩ 広報（稲葉幹事長）

- ・これまで福岡先生が担当されてきた。今後は渡部委員長代行と稲葉幹事長が引き継ぐ。
- ・ポスター案に示された後援者は変更する。また、マスコミは入れない。
- ・このポスター案については、渡部委員長代行と稲葉幹事長で校正する。
- ・県民講演会のチラシ作成を急ぐ必要がある。
- ・チラシ作成は稲葉幹事長が担当する。
- ・開催案内書のベースは稲葉幹事長が作成し、内容については各担当に割り振る。
- ・開催案内書のうち、交通アクセスは渡部実行委員長代行が作成する。
- ・印刷については、文久堂によれば、盆前に入稿すれば大会前に納品可能とのこと。

⑪ 支部出版物 DVD（佐藤副幹事長）

- ・地すべりハンドブックは掲載しない。
- ・新潟の地すべり'98 は掲載しない。
- ・前書きのご意見を頂きたい。発行日の記載は 2018 年 8 月とする。
- ・飯豊山系砂防事務所の資料は外す。
- ・県資料の使用許諾については県が確認し、許可が得られれば掲載する。

- ・DVD700 枚の作成費は実行委員会経費から支出する。
- ・発行者は「実行委員会」とする。
- ・容量は 300dpi で 4GB 未満であるが、不鮮明ではない。
- ・制作は東京の業者のブルーホップに委託する（金額、パッケージ仕様の面から）。

3. その他

新潟支部 HP のリニューアル（佐藤副幹事長）

- ・HP のリニューアル及びその後の運営費について、(株)キタックの見積書を紹介。
- ・多少金額が高くなるが、リニューアルを行うのであればフルスペックのものとする。

新潟支部総会・シンポジウム（稲葉幹事長）

- ・支部総会は収入 49 万円，支出 58 万円，支部拠出金は 9 万円程度と，概ね例年通りとなった。
- ・後援団体に提出する報告文書においては，支部長名及び代行者名を併記する。

4. 次回打合せ

- ・次回打合せは，7 月 12 日（木）18：30，新潟大学災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルームで行う。